【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【公開番号】特開2002-306899(P2002-306899A)
【公開日】平成14年10月22日(2002.10.22)
【出願番号】特願2001-112199(P2001-112199)
【国際特許分類第７版】
　Ｄ０６Ｆ　58/10
　Ｄ０６Ｆ　58/00
【ＦＩ】
　Ｄ０６Ｆ　58/10　　Ｚ
　Ｄ０６Ｆ　58/00　　Ｅ
　Ｄ０６Ｆ　58/00　　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成16年1月20日(2004.1.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
内部に温風供給装置を有し、外部に温風を供給するホースを備えたふとん乾燥機に、前記ホースを介して装着され前記ふとん乾燥機からの温風を利用して内部に収容された乾燥物を乾燥させる衣類乾燥ケースにおいて、
該衣類乾燥ケースの底面に前記ホースの先端部が内側に突出して装着される装着穴を設け、前記底面の内側に、前記装着穴を覆い装着されたホースの先端部の突出長を規制する位置規制部材を備えたことを特徴とする衣類乾燥ケース。
【請求項２】
位置規制部材を覆い、衣類乾燥ケース内にホース先端部からの温風を吹き出す複数の開口部を有するカバーを設けたことを特徴とする請求項１記載の衣類乾燥ケース。
【請求項３】
カバーの各開口部を、衣類乾燥ケースの内周面に対向するように設けたことを特徴とする請求項２記載の衣類乾燥ケース。
【請求項４】
カバーの各開口部を、それぞれに対応する衣類乾燥ケースの内周面に対してほぼ均一な距離になるようにしたことを特徴とする請求項３記載の衣類乾燥ケース。
【請求項５】
衣類乾燥ケースの底面をほぼ矩形状に形成してカバーの各開口部を前記底面の四隅にそれぞれ対応させ、該四隅に対する距離をほぼ均一にしたことを特徴とする請求項２または３記載の衣類乾燥ケース。
【請求項６】
衣類乾燥ケースの底面を長方形状または楕円形状に形成し、カバーの開口部を前記底面の長手方向側に向けたことを特徴とする請求項２乃至４のいずれか記載の衣類乾燥ケース。
【請求項７】
装着穴を、衣類乾燥ケースの底面のほぼ中心部からずらした位置に設けたことを特徴とする請求項１乃至６のいずれか記載の衣類乾燥ケース。
【請求項８】

カバーを、非通気材料または水滴を通さない程度の通気材料により構成したことを特徴とする請求項２乃至７のいずれか記載の衣類乾燥ケース。
【請求項９】
位置規制部材を、通気材料により構成したことを特徴とする請求項１乃至８のいずれか記載の衣類乾燥ケース。
【請求項１０】
内部に温風供給装置を有し、先端部に収容された乾燥物を温風を利用して乾燥させる衣類乾燥ケースが装着されるホースを備えたふとん乾燥機において、
前記衣類乾燥ケースの底面に前記ホースの先端部が内側に突出して装着される装着穴を設け、前記ホースの先端部を側面に複数の吹出口を有する有頭筒状に形成したことを特徴とするふとん乾燥機。
【請求項１１】
ホースの先端部を、両端部に衣類乾燥ケースの内周面に温風を吹き出す吹出口を有する筒状の頭部と、該頭部のほぼ中間部に設けられて頭部と連通しホースに連結された筒状の胴部とからなる正面ほぼＴ字状に形成したことを特徴とする請求項１０記載のふとん乾燥機。
【請求項１２】
頭部の両吹出口の周縁部を胴部側に向かうにしたがって該胴部側に傾斜したことを特徴とする請求項１１記載のふとん乾燥機。
【請求項１３】
頭部の両吹出口の周縁部の下方に、切除部を設けたことを特徴とする請求項１１記載のふとん乾燥機。
【請求項１４】
衣類乾燥ケースの底面を長方形状または楕円形状に形成し、ホースの先端部の吹出口を前記衣類乾燥ケースの底面の長手方向側に向けたことを特徴とする請求項１０乃至１３のいずれか記載のふとん乾燥機。
【請求項１５】
装着穴を、衣類乾燥ケースの底面のほぼ中心部からずらした位置に設けたことを特徴とする請求項１０乃至１４のいずれか記載のふとん乾燥機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
本発明に係る衣類乾燥ケースは、内部に温風供給装置を有し、外部に温風を供給するホースを備えたふとん乾燥機に、ホースを介して装着されふとん乾燥機からの温風を利用して内部に収容された乾燥物を乾燥させる衣類乾燥ケースにおいて、衣類乾燥ケースの底面にホースの先端部が内側に突出して装着される装着穴を設け、底面の内側に、装着穴を覆い装着されたホースの先端部の突出長を規制する位置規制部材を備えたものである。また、位置規制部材を覆い衣類乾燥ケース内にホース先端部からの温風を吹き出す複数の開口部を有するカバーを設けたものである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
【発明の効果】

以上のように本発明に係る衣類乾燥ケースは、内部に温風供給装置を有し、外部に温風を供給するホースを備えたふとん乾燥機に、ホースを介して装着されふとん乾燥機からの温風を利用して内部に収容された乾燥物を乾燥させる衣類乾燥ケースにおいて、衣類乾燥ケースの底面にホースの先端部が内側に突出して装着される装着穴を設け、底面の内側に、装着穴を覆い装着されたホースの先端部の突出長を規制する位置規制部材を備え、位置規制部材を覆い衣類乾燥ケース内にホース先端部からの温風を吹き出す複数の開口部を有するカバーを設けたので、位置規制部材により先端部の差し込みすぎを抑えてカバーとの間に一定量の空間を有することができ、確実に温風を衣類乾燥ケース内に供給することができる。また、カバーによって乾燥物から落下した水滴のホース内への侵入を防ぐことができるとともに、衣類乾燥ケースの底面より突出した先端部によって底面に溜まった水の先端部からの侵入を防ぐことができ、ふとん乾燥機の安全性を確保することができる。さらに、複数の開口部によって先端部からの温風が真上に直進することなく衣類乾燥ケース全体に満遍なく広がって行き渡り、乾燥物を乾燥むらなく均一に乾燥でき、乾燥効率の高い衣類乾燥ケースを得ることができる。